

10月18日(木)第1065回

東京都足立区西倫理法人会 会長

講師:高際 和夫 氏

テーマ:「純粋倫理のお陰さま」



足立区梅島出身で、子どもの頃から悪い事ばかりする少年だった。中学校は文京区に越境入学して真面目になるつもりだったが、やはり無理で悪さばかりの学生時代だった。そのまま覚醒剤を常用するようになり、刑務所を出たり入ったりする事になる。両親は足立区西倫理法人会の会長まで務める人物だったが、自分が刑務所に入ったのをきっかけに三年務めるはずの会長職を一年で辞める羽目になってしまった。母はその時うつ病になってしまった。そんな自分が現在、足立区西倫理法人会に入会して父と同じ会長職に就いている。その立場になって両親に本当に申し訳なく思う。今の私がいるのは倫理法人会のお陰。まず、後継者倫理塾の学びがある。「親孝行、先約優先、苦難福門」その中で自分を変える事が出来たのも両親の愛情だった。その愛情が私を救ってくれた。父母から届いた手紙を読む高際さんは泣いていた。両親に感謝です。共に倫理を学んで成長して参りましょう。

10月25日(木)第1066回

越谷市倫理法人会 監査

講師:中村 猛 氏

テーマ:「倫理は自分磨き」



高校卒業後、就職するも十カ月で退社。会社から逃避するように自分探しの暗黒模索の旅へ。体を使ったアルバイトで、現在の水道工事の仕事と出合い、二十歳で独立、会社を設立。現在社員二十六名、協力会社六社で経営をしている。倫理との出合いで夜型生活から朝型生活へ転換。葉十三条の「親を大切にせぬような子は、何一つ満足にはできない」という言葉に、自分の人生のつまづきの原因に気づく。父親が大嫌いだ。子である自分、親との関係に思い至り、感謝の気持ちで湧いた時、事業、家庭の全てが好転し始めた。そして、お役をいただいた本気で倫理と向き合うようになった。役職は役得、会長職が自分を成長させてくれた。一番楽しかった。倫理の神髄は夫婦愛和。そして一番難しい課題だ。奥さんの話をよく聞くようにしている、奥さんが一番厳しく、そして一番やさしいから。自然体の話の中にも倫理の凄さが伝わってくる素晴らしい講話だった。

モーニングセミナー実施中

早起きで変わる！あなたの会社と人生

『モーニングセミナー』に参加してみませんか？

倫理法人会では、仕事に支障のない朝の時間を利用して、週に一度「経営者モーニングセミナー」を開催しています。経営者が自らの生き方や会社のあり方を真剣に学ぶ道場のようなもの。セミナー終了後は、情報交換、交流の場として朝食会も用意しています。どうぞお気軽にご参加ください。

草加市倫理法人会

交流が広がる朝食会を用意してお待ちしています！

「モーニングセミナー」でどんなことをやるの？

・一流講師と経営者の体験談を聞き、経営者が自らの生き方や会社のあり方を学べます。

・朝方の生活を体得するとともに、会員同士の交流・情報交換の場として、多くの職種の方との出会いがあります。

モーニングセミナー(無料)

朝食会(500円)

毎週木曜日

セミナー AM6:00~7:00

朝食会 AM7:00~8:00

東武スカイツリーライン「草加駅」徒歩8分



10月

モーニングセミナー & 行事報告

10月4日(木)第1063回

(一社)倫理研究所 法人スーパーバイザー

講師:川内 美喜男 氏

テーマ:「つながり」



今から七年前に、三男が箱根駅伝六区の走者となった。前日の深夜、大雪が積る箱根の湯に浸かりながら「彼の事はどうでもよい。俺のために走って欲しい。いや、中止になっても良い」などと考えを巡らせた。野球で脱臼した旧友の話を還暦を過ぎた今でも冗談交じりに言われるのを見聞きしているからだ。箱根駅伝六区は危険な区間。息子には万が一の事で今後の人生を引きずって欲しくない。一方で、走りぬく事で人生の糧として欲しい。様々な心配が入り混じる。そして、無事に走り抜いた日の夜「お前のお陰で俺の立場も良くなった」と話すと、涙を流しながら「父さん、違う。僕は先輩から譲り受けたシード権を先輩に繋ぐ事が出来なかった」と言った。ハツとさせられた。三男は、先人から預かったものを後世へ繋いで行くという使命を背負っていたのだ。私たちが親祖先が積んだ徳を食べ荒らすのではなく、子孫に残す徳を積んでいく必要がある。

勝間翼記

10月11日(木)第1064回

地域子ども包括支援センター 理事長

講師:野口 和幸 氏

テーマ:「子ども食堂の現場レポート」



「子ども食堂」は知っているけど行った事がないと言う人が多い。日本ではアフリカのような絶対的貧困はないが相対的貧困は七人に一人、クラスには四、五人いる事になる。先生へのアンケートでは生徒の貧困について七割が知らないと答えている。一見普通に見える貧困が相対的貧困である。子ども食堂には誰でも出入りできるようにしている。運営の大きなハードルは、食材、人材、場所だ。行政も動き始め、出来る所同士で協力し、横のネットワークを広げていき、一つの小学校地域内に一カ所「子ども食堂」を作る事を目標にしている。多世代の人々が利用できる所であり、子どもたちが、意味ある大人と出合い、目標を見つけるところとなる。様々な世代や立場の人々の協力で成り立ち、そこで人と人が繋がる、子どもたちの居場所として「子ども食堂」はある。

遠藤広伸記

11月の行事

- 11月
- 11/3.4 (祝) ふささら祭り出店
 - 11/14 (水) PM:7:00~ 於: 埼玉屋旅館 ナイトセミナー
講師: 板谷 正紀 氏
 - 11/21 (水) PM:6:00~ 於: 埼玉屋旅館
平成30年度活動報告会

